



90  
 発行者 滋賀県PTA連絡協議会  
 編集者 滋賀県PTA連絡協議会  
 印刷 滋賀県PTA連絡協議会

今年度の県PTA大会の大会宣言(2ページ参照)にもありますように、ケータイ・スマホといった情報通信機器の発達により子どもを取り巻く環境においても身近なものとなってきています。こうした機器類は、利便性が高く子どもたちのコミュニケーション手段としても深く浸透してきている一方で、いじめのアンダーグラウンド化や思いもよらない犯罪に巻き込まれる危険性等、極めて高いリスクを伴うものでもあります。

このような状況に対し、まずは大人が正しい知識と理解を身につけていくことが必要ではないでしょうか。今回は、先日大津市で開催された「青少年の安心・安全なスマートフォン利用に関するセミナー」でご講演された兵庫県立大学・竹内和雄先生にそのきっかけとなる問題提起をいただきました。

## スマホ時代の親として

### 子どもたちは今



兵庫県立大学  
環境人間学部  
竹内 和雄氏

私は、全国各地で思春期の子どもたちにインタビューしている。スマホや携帯電話に特化したものではないが、最近はこの話題がほとんどだ。

「友達と寝るまでLINE。家に帰ってもずっと話せるから、楽しい！」

中3女子で、毎晩、2時頃までずっとスマホ。週に半分くらいは「寝落ち(スマホ等をやりながら寝てしまうこと)」してしまうようだ。以下、彼女とのイン

お風呂とかご飯のときも一応、チェックしている。自分に関係する話題になったら、何か言っとかないと影が薄くなる。

— クラスみんなぞ? —

うん。クラスの女子のほとんどやってるかな。スマホじゃないと友達関係やっけない。LINE前提だもん。ガラケーだとつらい。今のクラスも始業式の日には、クラスで20人くらいのLINEグループできてた。クラスにはガラケーの子いるけど、影薄いなあ。黙ってたらダメだし、出しやばってもダメだし、LINEずつとみてタイムニング計ってる。

タビユーの一部を紹介しよう。なお個人が特定できないように、変更や違う事例を一部加えてある。

— お母さんは怒らない? —

布団の中だし、気づいてない。最初11時までとか言ってたけど「スマホを目覚まし替わりに使う」と布団のそばに。

— 眠くない? —

だって、友達みんなやってるから、なかなか終われない。次の日、話題についていけなかったら困るし、夜のLINEの続きから朝の会話は始まるって感じ。「ごめん、寝落ちしてた」って。時々、正直めんどくさいこともある。

「ガラケー」は「ガラバゴスケータイ」の略で、スマホ以前の普通の携帯電話。「無線ラン」はパソコン用の電波。WiFi回線。スマホはこの回線を使って情報収集できる。「ルーター」は無線ランの基地になる装置で、持ち歩くとWiFi回線を使うことができる。1個のルーターで10人程度が同時に参加できる。

こういうことを子どもたちは知っていて、使いこなしている。知らないのは私

たち、大人だけである。彼女の声から多くのことを学ぶことができる。まず、彼らの人間関係の中核部分にスマホ、特にLINEがあるということ。善悪を超えて、彼らの実感である「使わせない、禁止」だけで通用しない。次に非常に気を遣っていること。LINEでのやりとりが、普段の人間関係に大きく影響するので、一瞬も気が抜けない。まさに「一生懸命スマホしている」状況である。食事中はもちろん、風呂、テレビを観ながらといつも見ていて、自分に関係ある書き込みには必ず参入。「勉強中も見てる」「勉強そつちのけでLINE」ってこともよくある。

### 親として

スマートフォン、携帯電話の変化のスピードは驚くほど速い。だからこそ、子どもと普段から話す機会を十分に確保することが今以上に必要だろう。

「スマホはデジタルでよくわからない」と保護者からよく聞く。確かに難しいが、大切なのはそういうデジタルな部分ではなく、親子での何気ない会話なのだ。子どもたちはスマホを扱う中でかなりの頻度でトラブルに巻き込まれる。そのとき、相談ののつてくれる保護者がいる子どもは、大事に至らない。相談相手がいらない子ども、悲しい事件に巻き込まれてしまう。

スマホ時代の今だからこそ、親子関係では、アナログな血の通った交流が求められている。

スマホで不安な保護者の皆さん。今晚、子どもとじっくり話し合ってみてください。一番よく知っている子どもに教えてもらうのが実は一番の近道です。



▶ セミ生とのLINE

## PTA 会長等代表者 研修会開催!

滋賀県教育委員会主催  
 日時: 4月12日(土) 13:30~  
 場所: 近江八幡市文化会館  
 竹内先生の講演が予定されています。



竹内先生と松浦会長 大津市で開催されたセミナーでの1コマ

第56回  
滋賀県PTA大会開催  
平成25年12月7日 あいこうか市民ホール



会長  
松浦 洋子

つながりを深めて

本日の大会宣言案（注…その後、拍手にて決議）にもありますように、情報通信インターネットの急速な発達により、私たちも日々ケータイ、スマホなどといったものの便利さを享受しながら生活しています。

一方、そうした環境においては目に見えないところで有害な情報等があふれており、子どもたちが昔には考えられなかったような危険な状態にさらされてきているという実態もあります。

大会宣言（抜粋）

近年、著しく発達を遂げているインターネットは、今や不可欠のインフラになりました。ただ、それらの変化が短期間にかつ急激であるために親の世代は子どもに比して、それらの知識や技能に対してどうしても遅れがちになります。その隙間を狙うかのように、有害な情報等が溢れだし、子どもの健全な発達に大きな危惧を生み出しています。

すでに、SNSによる仲間はすれやいじめも、マスコミで報道されています。大人がこれらの動きに、手をこまねいて見ているだけで何もできないということであれば、子どもの世界は一層その荒廃を深めていくことでしょう。

子どものみならず大人も個々に孤立しがちな社会ですが、スポーツや芸術、あるいは地域行事などを通して、人と人が広く繋がり、社会の大きな流れを感じるとともに、社会の一員として、大人が子どもの世界に対しても関心を持ち、時には正しく子どもの世界に積極的に関与する勇気が必要だと思えます。

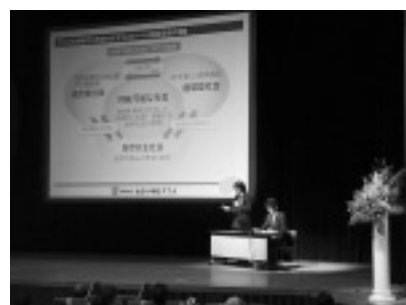
私たち大人が子どもの安全を守るためには、まずは正しい知識を持ったうえで、そうした危険な状況に対して敏感になり、どこから危険なことになるのかをしっかりと認識できるようにになるとともに、子どもたちの毎日の楽しみに、悲しみ、不安などといった様子にきちんと向き合っていく姿勢が重要です。

また、私自身がこれまでPTA活動に関わってきたと感じていることですが、保護者同士が横のつながりを持って地域ぐるみで子どもを育てることが大事であり、さらには幼稚園、小学校、中学校がお互いに関心を持って、つながりを深めていくことが大事ではないかと考えます。

本校は、鈴鹿山脈の麓にあり、標高693メートルの油日岳を源流とする柚川が、学校近くを流れる自然豊かな地域である。

環境を考え、生かし、守り、楽しみながら、子どもと先生、保護者が一緒に生き生きと活動された様子がよくわかる発表でした。

**実践発表**  
親子で学ぶ「環境フェスティバル」と、それを支えるエコスクール支援委員の活動  
甲賀市立油日小学校PTA



児童会では、5・6年生のエコ委員会が中心になって、熱心に活動している。

各学年の授業では1年生は季節の遊び、落ち葉ふとん、はっぱのお面、3年生が葉草調べ、4年生の山の子学習、5年生は田んぼや水環境を学ぶ等をしている。

PTAエコスクール支援委員会の取組みは、保護者、地域への窓口となつて、環境フェスティバルのスタッフとして活動している。

2012年環境フェスティバルでは2学年を担当した。2年生のひつこき虫の絵と話、3年生の焼き杉、クラフトづくりの指導支援を委員が受け持った。

取組みの成果としては、環境フェスティバルも4年目を迎え、保護者から寄せられる感想も、9割以上が好感を持

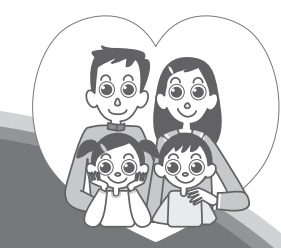
ち、期待のできるものとなっている。

ピオトープ、環境学習に対する認識の高まりを感じさせる記述も年々増えてきている。

スタッフとして関わって楽しかった、懐かしかった、勉強になったという意見を多く聞く。

油日小学校の子どもを、心豊かに健やかに、育てていくため、学校と家庭と地域が連携していきたい。環境フェスティバルもその連携を育てる機会の一つである。

今年度、油日小学校スローガン、「マイホームタウン油日の心をつなごう」の象徴である環境フェスティバルが今後も地域とともに歩んでいくことを願っている。



～滋賀県PTA連絡協議会～

園児・児童・生徒

24時間  
総合保障制度

学校内外問わず  
24時間補償

お子さまはもちろん  
同居の家族も対象  
賠償責任補償

自転車事故も対象  
(本人のケガ・賠償責任)

その他、育英費用・熱中症・特定感染症も補償！  
団体割引適用のため、個人で同種の保険に加入されるよりお安い保険料となっています。

平成26年度 ご加入のご案内

【新規加入】

4月上旬に各学校園で配布されます募集案内に同封の「加入依頼書」にてお手続きください。

【現在ご加入中のみなさま】

3月に満期または自動更新のご案内を郵送いたします。必ず内容のご確認をお願いいたします。

資料のご請求・お問い合わせは

「園児・児童・生徒24時間総合保障制度」係

滋賀県PTA

検索



0120-577-415

(平日9:30～17:00)

# 出会いの人生から学んだこと

記念講演

弁護士 菊地 幸夫氏

今年度は、テレビでおなじみの弁護士菊地 幸夫さんにご講演頂いた。

私は本業である弁護士以外に大学での講義、また毎週土曜日は女子小学生バレーの監督などの活動も行っている。女子小学生バレーの監督として大会に出場すると、他チームの監督が厳しく規律ある行動をしつけている場面を見かけることがよくある。そうしたしつけは大人から一方的に求める型にはまった行動を無条件反射で身につけておられるだけで、主体的に考えて行動するということにはつながっていない。私のチームの子どもたちは決して行儀よく振る舞うわけではなく、私は監督としてあえて無

条件反射に過ぎない規律ある行動を求めるような接し方ではなく、自ら考えて行動してくれることを期待した接し方を心がけている。

こうした学生の背景には、小学校のころから大学に至るまで一方的に受け身で授業を受けるだけという経験の積み重ねがあるように感じている。また、最近ではスマホ等でのコミュニケーションが主でFace To Faceのダイレクトコミュニケーションの経験の積み重ねが圧倒的に不足していることも背景にあるのではと思う。

飲み込みが悪い子と決めつけておらず、どうすれば身につけてくれるのか、大人の側が教え方の色んな選択肢を持つよう、教えるスキル向上の努力をすることが大事である。

主体的に考えるよう促しながら、追求めていく中で答えを導き出し、主体的に考えるよう促しながら

主体性のある子どもを育てていくには、大人が一方的に教え込むのではなく、相手の子どもであっても一人の人間として対等な立場でコミュニケーションを図ることから始めていくことが重要であり、もし教えたことがすぐに身につかない子がいたとしても

これからの時代を担う子どもたちに主体性のある思考・行動や高いコミュニケーション能力をどのようにして育んでいけば良いのか、私たち大人が自らを振り返りつつ悩み考え、具体的な行動に移していくことが求められていると考える貴重な機会になった講演であった。



講演会風景

## 平成25年度 受賞に輝くかたがた

(敬称略)

◎優良PTA文部科学大臣表彰  
竜王町立竜王幼稚園PTA  
彦根市立西中学校PTA

◎PTA活動振興功労者文部科学大臣表彰  
大津市 和田 光生  
守山市 岩佐 和幸  
服部 弘美

◎日本PTA全国協議会会長表彰  
〈団体の部〉  
高島市立湖西中学校PTA  
〈個人の部〉  
近江八幡市 小森 康三  
〈特別表彰の部〉  
大津市 廣瀬佳代子 大津市 中村 長七  
彦根市 種村佐智夫 栗東市 田中 英樹  
野洲市 吉田 守男 湖南市 中山 泰司  
高島市 大藤由美子 東近江市 植田 実千代

◎近畿ブロックPTA協議会会長表彰  
〈団体の部〉  
栗東市立葉山中学校PTA  
〈個人の部〉  
守山市 服部 弘美  
湖南市 中山 泰司  
高島市 山川 好恵  
東近江市 植田 実千代  
豊郷町 伊藤 雅子



◎滋賀県PTA連絡協議会会長表彰  
〈個人の部〉  
大津市 笠川 克美 大津市 望月 敬之  
大津市 小椋 昌彦 大津市 田中 美子  
大津市 津舟加奈子 彦根市 中村 尚宏  
長浜市 高橋 要 長浜市 水 永藤  
長浜市 大音 洋 長浜市 伊藤 多  
甲賀市 大原 敏 高島市 小 健嗣



### 育てたいのは 子どもたちの未来。

「高校生国際交流プログラム」協賛  
「いじめ防止標語コンテスト」開催  
「エコキャップ推進協会」への支援  
「がん健診企業アクション」への参加  
「新日本フィルハーモニックオーケストラ」協賛 ほか

AIU損害保険株式会社 神戸支店  
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-3  
問合せ：078-360-2401 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

地球の未来にできること。  
マングローブ「海の森」づくりは、  
その答えのひとつです。

東京海上日動は、1999年度からNGOをパートナーに、地球温暖化の抑制に役立つマングローブの植林をはじめました。それから10年、「海の森」は5,000haを超える面積にひろがりました。マングローブ「海の森」づくりは、東京海上日動が地球の未来に向けた保険。100年間植林を継続することを目指し、取り組んでまいります。  
\*「マングローブ植林行動計画」「財団法人オイスカ」(1999年度～)「国際マングローブ生態系協会」(2009年度～)

東京海上日動火災保険株式会社  
東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050  
☎0120-868-100 午前9時～午後8時(平日、土日祝とも) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

### 挑戦！学校図書館大改造！

東近江市立能登川北小学校



古い書架、ぎつしり詰まった蔵書。何となく薄暗くて、圧迫感にあふれていた学校図書館。この学校図書館を「学校で一番魅力的な場所」に変えたい！

昨年夏、学校図書館再生に熱い思いを持ち、自主的に集まってくれた5・6年生の17名の子どもボランティアの力、北小の心強い応援団・読み語りボランティアや保護者ボランティアなど地域の皆さんの力、東近江市立図書館の司書・学校司書さんなど専門職の力、本校教職員の力を結集し、日本を代表する「学校図書館の匠」、五十嵐絹子先生と向井純子先生のご指導の下、学校図書館大改造して「北小学校図書館大改造プロジェクト大作戦」に挑戦しました。

改造のポイントは、①蔵書の精選②日本十進分類表に従い、全蔵書約六千冊の分類記号を見直し、ラベル

を貼り替える③本を見つけてやすくする案内表示の作成④書架配置を見直し、見通しがよくつる居場所としての空間演出や表紙見せで本の出会いを広げる工夫をすることの4点。

本や書架の大移動は皆さんの力で一日で完結。ボランティアさんには楽しい掲示物で開館に花を添えて頂きました。

9月。読み語りボランティアさんの心温まる読み語りの会で新生「くりみつ子図書館」が開館。

古い書架はすべてクリーミングし、直に塗り直し、壁はかわいい布でコーディネート。ネット。地域の方から寄せられたぬいぐるみに囲まれ、明るくおしゃ



### ネットから子どもを守る

大津市立瀬田南幼稚園PTA



保護者が親として成長していけるような講座を年1回実施しています。今年度は更生保護女性会瀬田南支部との共催で、ネットいじめの現状や遭遇する危険性について知り、親としてどんな心構えが必要かを学ぶため、「ネットから子どもを守る」と題して、神月紀

輔先生（フートルダム女子大准教授）にお話しいただきました。ネットは送る手の想像を超えた心の傷や犯罪を招くこともあります。包丁と同じで便利な道具ですが、正しい使い方を教え、見守ることが大切なのだそうです。大人の行為を子どもは

れなカフェのような雰囲気。子ども達ご自慢の読書センター・学習センターに見事生まれ変わりました。



2学期4ヶ月間の貸出冊数は前年同期比約5倍に急増。子ども達で賑わい、地域の皆さんや卒業生もたくさん訪ねて下さる学校図書館になりました。



今後とも学校と地域が連携し、さらに愛される学校図書館となるよう、努力していきます。

そのまま真似ているものではない。ネット犯罪もネット上のいじめも大人社会で起きていることを子どもは真似ている。相手への思いやりを忘れない態度、ネット中毒にならない自制心など、まず大人がモデルになり、テレビやDVD、ゲームに子守りをさせないで、家族と語り合う楽しい経験を家庭でさせてあげることがとても大事だと学びました。

12/14 土曜日

### 第3回連P会長会開催

滋賀県婦人会館



今年度から各市町連Pの会長交流会を始めました。そこで、今回はPTAの必要性、活動、役員等について話し合われました。



自由な時代になつてきて、まさにPTAの加入も自由ではないかという意見も出てきている中、PTAの活動ってどんなこと、子どもに返ること、親が学習できること、親が学習できること、地域の伝統をみんなを守る場所、学校を支えるところ、PTAという大きな団体だからこそ、子ども達の成長のためにできることがある等々深い話し合いがなされました。また、各地域によってPTAの状況や抱える問題も違いますが、それぞれの状況を踏まえて上手に手腕を發揮されている様子も伺え、役員としての楽しさや喜びも交流でき

### 早寝・早起き 朝ごはん

### 平成25年度「早寝早起き朝ごはん」県民運動ポスターコンクール入賞者

- < 滋賀県教育長賞 >
  - 甲賀市立伴谷小学校 6年生 高盛 ちさとさん
  - 守山市立守山中学校 3年生 中西 真穂さん
- < 滋賀県 PTA 連絡協議会会長賞 >
  - 甲賀市立貴生川小学校 1年生 小西 優輝さん
  - 東近江市立愛東中学校 2年生 川瀬 萌さん
- < 滋賀県青少年育成県民会議会長賞 >
  - 大津市立逢坂小学校 4年生 広瀬 恵弥さん
  - 彦根市立南中学校 1年生 辻 紗歩さん



小西 優輝さんの作品



川瀬 萌さんの作品

今更スマートフォンの問題を一面に取り上げました。私たちは危機感を感じます。会長交流会でもあったように、PTAのあり方も考え、子どもたちを正しく導ける親になって連携したPTA活動ができるよう皆さんで考えてみましょう。

### 編集後記

心のきずな 61キャンペーン  
～守ろう子どもたちの笑顔と未来～

「被害を受けた子どもたちの教育支援」を目的とする日本PTAの募金活動に参加してきました。本当の支援はこれから！今後も取り組んでいきます！ご協力よろしく申し上げます。

滋賀県PTA募金総額 17,285,808円 (平成24年3月15日～26年2月2日分)

\*\*\* PTA安全会より \*\*\*

PTA行事参加中に事故が起こったら…各単位PTAを通じて下記へご連絡ください。

**AIU損害保険株式会社**

取扱代理店  
**(株)アーク・スリー・インターナショナル**

F520-0051 大津市梅林一丁目3-25 大津駅前1st森田ビル4F  
TEL (077) 527-6923 FAX (0120) 527-606  
(平日・9時30分～17時まで)

滋賀県PTAホームページ <http://www.shiga-pta.jp/>